

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・山田	写真・後藤
山行 NO. 1983		
日 時 2022年04月23日(土) 晴		
山 域 宝永山・2352m峰		
コース 長泉 6:00 一須山登山口発 7:15 一幕岩一三辻 8:36 一赤岩沢(仮称) 一御殿庭上(反省会) 9:47 一第二火口一 2352m 峰 10:33 一五合目分岐一宝永山分岐 10:48 一第二火口(昼食) 11:20~12:49 一御殿庭上一赤岩沢一須山登山口 14:53		
標高差 上り/下り 須山登山口約1360m~宝永山分岐約2470m=約1110m		
藪漕度 なし		
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい		
快晴・蒼穹の富士・晴れ男		
参加者 後藤、加藤、井上、伊藤ち、山田敬=5名		

はじめまして、この度、裾野麗峰山の会に入会しました山田です。よろしくお願ひします。正式に入会してから初登山ですし、山登りも先週の茅ヶ岳が初めてで、それまでの登山経験もなく超初心者です。山行報告書も書いてみたらと後藤さんに言っていたので、こちらも見よう見まねで書いてみます。



須山登山口

長泉の出発時は曇りで、低い雲が垂れ込んでおり、富士山は全く見えない。しかし、須山登山口に着くと、一転、青空に。先週の茅ヶ岳も、登山口までは霧と雲で視界が悪かったのですが、登りはじめると快晴。2週連続の展開だったので、後藤さんから「晴れ男」と命名されました。

今回は訓練が目的で、3時間半で標高差1000mを目指すということ。須山登山口発7:15。もみの木の樹林帯をひたすら登って、御殿庭あたりで、ひと休憩。ここで私が初心者ということで、後藤さんから登山クイズの出題。

「日帰り登山でも、必ず持って行かないといけないものが1つあります。それは何?」。「水!」

「食料!」「地図!」「コンパス!」全部違うということで、「昼食までに考えておいて。」と言い残して、登り再開。



美しい富士山

森林限界近くになりで、視界が開けてくる。空は青い。日差しが強い。富士山の山頂手前に今回の目標到達点らしきところが遠くに見える。後藤さんと加藤さんはズンズン前に。私の息はハアハア。

伴走してくれている井上さんに現在地を聞いたら「あと標高 200m くらいですね」ということ。「こんなに登ったのに、まだそんなにあるのー」私の心はここで一回折れる。私にとっては絶望的に遠い。そして高い。

へろへろで登っていったら、残雪があった。そうしたら、後藤さんと加藤さんが待っていて「山田さんラッキー! ちょうどいい、雪山の練習をしよう」と、急に雪山の登り方の講習会に。

「(そんな余裕ないんですけど)」とは言えず。「靴の足先を雪に突き刺すの!」と加藤さんに教えてもらい、自分なりにやってみるが、どうも違うらしく、お手本を見せてもらいながら、足の力の入れ方のコツを何回もやって登ってみる。「そうそう、だいぶんうまくなった。じゃあ降りてきて、もう一回やってみよう」と後藤さん。

「(えー、せっかく何メートルか登ったのに、ここで下るのー)」とは言えず。雪の下り方も教えてもらいながら、下る。そしてまた雪を登る。確かに今日の目的は訓練だった。でも訓練の内容は聞いてなかった。エンジョイ訓練。



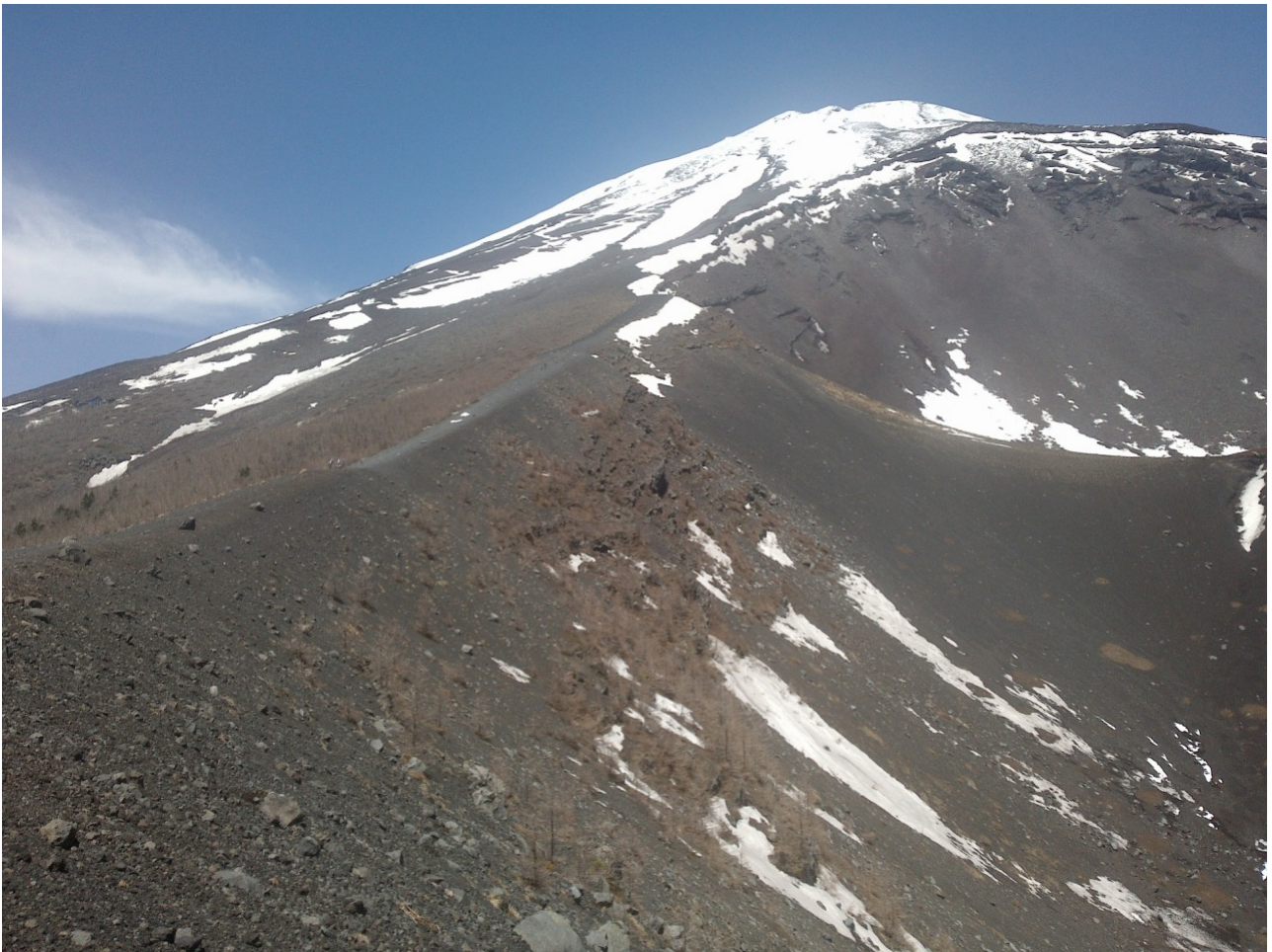
雪上訓練



山田さん、晴れ男

そんなこんなで、遠くに見えていた目標到達点らしきところにやっと到着した。眼下に愛鷹山や駿河湾が見え、富士山頂も近い。真下の第二火口も壮大なスケール。その先に宝永山。すばらしい眺め。感動。これは実際に来てみないとわからない。

天気もいいのでスマホで写真を撮ったりしていた。が、井上さんに現在地を確認してもらったら、標高差が988mであと高さ12m必要とのこと。よく見たら後藤さんと加藤さんは、目標到達点らしきところからさらに頂上方面に登っていた。もうゴールだと思っていたのに、、、。残りは井上さん



富士山は大きい

に高度計をはかりながら登ってもらって、標高差 1000mを超えたところで終了。もう体力限界。座ってザックをおろして休憩。息を整えていたら、下で待っていると言っていた伊藤さんが結局、我々に追いついて到着。

先を行っていた後藤さんと加藤さんも、降りてきてくれた。みんなスタミナがすごい。「じゃあ、少し下って、昼食にしましょう」と、少し下ったところでランチ（第二火口（昼食）11:20~12:49）。山で食べるごはんはおいしい。

休んで元気も回復。「登山クイズの答えわかった？」と後藤さんに聞かれたが、正直それを考える余裕はなかった。日帰り登山でも、必ず持って行かないといけないものの回答として、後藤さんがザックから取り出して見せてくれたものは「ライト（ヘッドライト）」だった。なるほど。

下山途中、後ろを振り返ったら、先程いた山頂はもう雲の中。1時間前は快晴だったのに。こういうのを富士山の守り神である「コノハナサクヤヒメの裏切り」というらしい。

いろいろ教えてもらいながら無事予定時刻に下山（須山登山口 14:53）。きつかったけど終わってみれば楽しい登山でした。

その他の記述（ごとう）

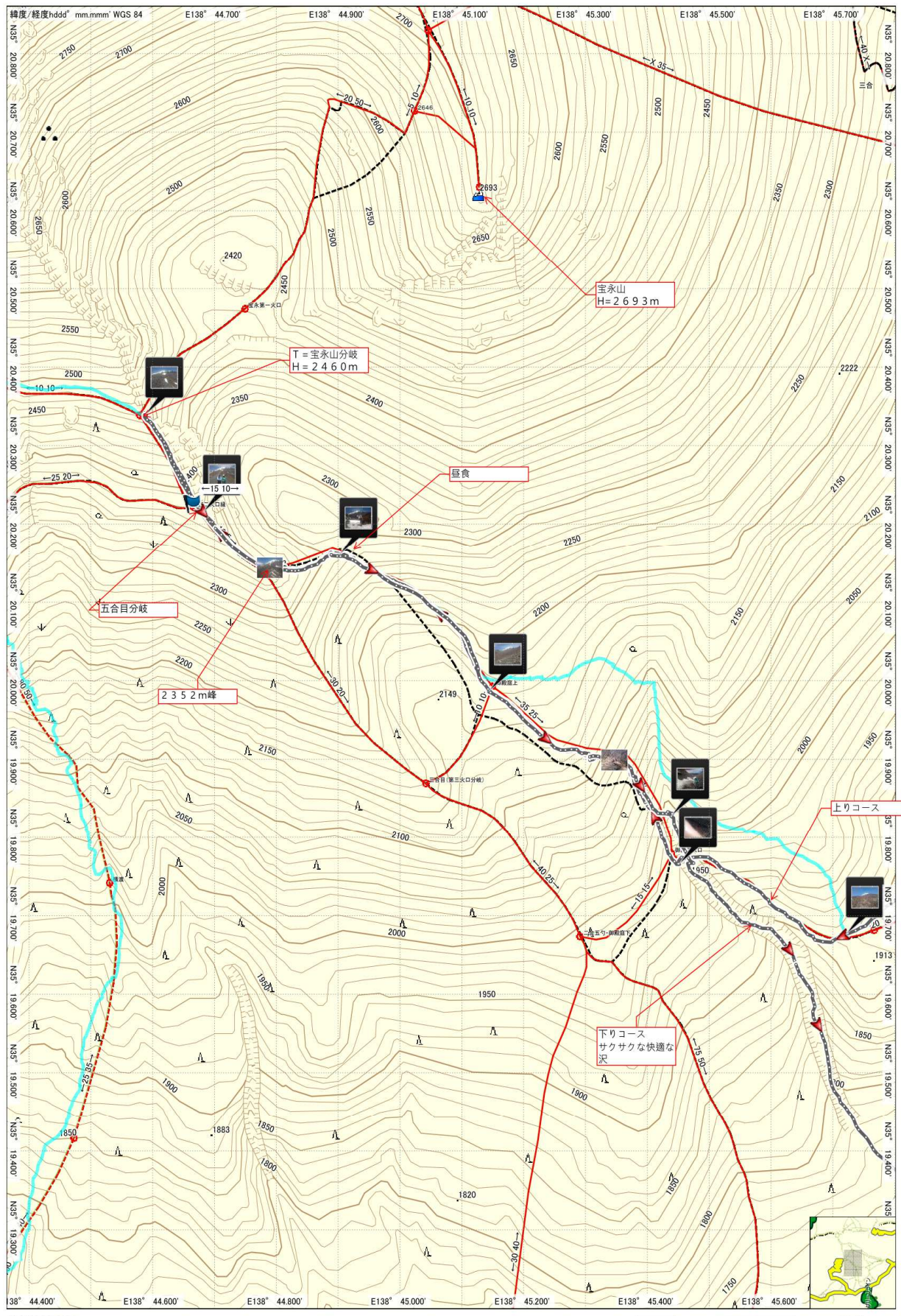
1. 周遊道で豆サクラ（富士サクラ）、林内にコバイケイソウで観察。
2. 第二火口下で掛川から来た若い衆に会った。6:30に出発し宝永山に上った。速い。
3. 宝永分岐で、静岡の方に会った。心臓をバイパスというが、健康維持で登山。
4. 伊藤さん・山田さん、良く歩きました。



昼食



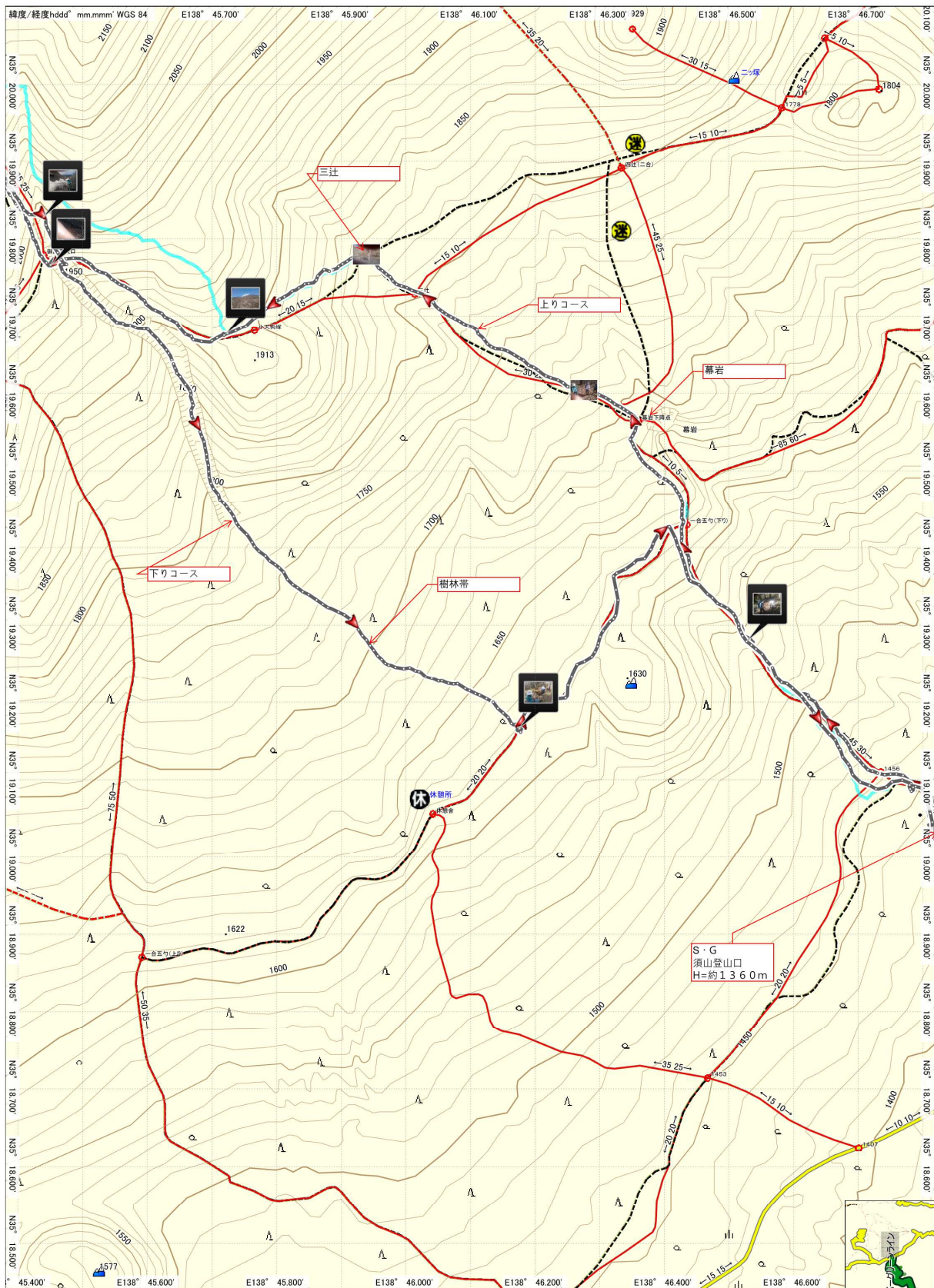
御殿庭上



Japan Topo 10M Plus V3
 Copyright © 2014 Garmin Corporation 1995-2014

2022/04/24 8:06:09

GARMIN



2022/04/24 8:06:09

GARMIN